



2023年ゴルフ規則の追加の詳説

2022年12月16日更新

追加の詳説は通常四半期ごと(1月、4月、7月、10月)に更新され、次の更新は2023年4月となります。

規則

規則5：

規則5.2：

5.2b/3—ストロークプレーのラウンド前にコース上で練習することに対する罰の適用

規則5.2b はストロークプレーのラウンド前にコース上で練習することが認められない場合を説明している。規則5.2b の罰則は、「コース上で練習すること」の文言には球を転がしたり、表面をこすることによって、ホールのパッティンググリーン面をテストすることも含んでいるので、ストロークを行うことに限定されない。

プレーヤーが1つのパッティンググリーン面をこすった場合、同じグリーン面をこすった回数に関係なく、そのプレーヤーは規則5.2b に1度だけ違反したことになる。(2022年12月追加)

規則10：

規則10.2：

10.2b/1—アラインメントを援助するための自立式パターの使用は認められない

[注：実施が遅延し、自立式パターの特定の使用に対する適用は2025年1月1日に施行する。更なる情報は詳説10.2b(3)/2参照。] (2022年12月追加)

10.2b(3)/1—プレーヤーがスタンスをとる援助のために球の後ろにクラブヘッドを置くことは認められる

[注：実施が遅延し、自立式パターの特定の使用に対する適用は2025年1月1日に施行する。更なる情報は詳説10.2b(3)/2参照。] (2022年12月追加)

10.2b(3)/2—自立式パターの特定の使用についての実施の遅延

規則10.3b(3)に基づく自立式パターの特定の使用に関する実施の2年の遅延は以下の通り施行する：

- 2025年1月1日まで、プレーヤーは、目標を定めたり、スタンスをとったり、足の位置を決める援助とするために自立式パターを球が止まった箇所の直後やすぐ近くに立たせて使用することができる。
- 2025年1月1日から、規則10.2b(3)は自立式パターに適用し、その前段に規定されている行動はもはや認められない。しかし、プレーヤーは規則に適合する自立式パターをストロークを行うためや、規則で認められている他の行動をとるために使用することはできる。(2022年12月追加)